

■H25.8.10 勉強会<合同>第4回 参加者アンケート結果:10名

No	1.戦略案(代替素案)と代替案について(グループ検討の進め方、内容等)	2.今後の予定について	その他、PIプロジェクトに関するご意見
1	議論が出つくした為か、堂々巡りの感じが強くなってきたように思います。	詳細に使うデータ等、詳細でいい資料をお願いします。	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・A3案は可能性がはっきりしなければ、代替案として検討できない。 ・市は財政見直しを明確にすべきだ。情報開示必要。 ・人口減少など懸念される事項についての情報が、検討に反映されるべき。 ・まだ情報が開示されていない事柄について、疑問に思うことがある。 ①電車(車両)基地、貨物駅(現在)の土壤汚染の心配はないのか。沼津駅西側の旧貨物の引き込み線や機関区では、鉛汚染が見つかっている。もし、汚染があったら除去に莫大な費用と時間を要するが、心配はないのか。調査はしているか、いないのか。実態はどうなのか、知りたいところだ。		
3		そろそろ方向性を決めてほしい。その時、貨物駅の実現性も重要な要素です。	都市計画から、(国)414号の三ツ目ガードの立体交差(オーバークリッジによる)を分離して、道路法に基づく事業として、推進することも検討してはどうか。25年前には、実施の方向で進んでいた。
4	自分の意見は、総合整備型1~②案を進めていくべきだと思っていますが、橋上案の方の意見では、地下式方式等、新しい意見も出たりしています。前向きに考えれば、意見が活発に出ているように思うが、考え方はなかなか変わらないものだと思う。	具体的なスケジュールを明確にしてもらいたい。知事の見聞きたい。	PIとして、知事に最終報告した後に、どのような手続きをして決定するのか知りたい。 (例)PI最終報告→知事→県議会→国→県→市
5			本日は穏やかに議論できてよかったです。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ検討の進め方は、非常に適切でした。発言しやすかったです。 ・A3案については、可能性を可及的速やかに示して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家(技術検討アドバイザー)に期待することとして、20~30年後の地域(沼津、原)の人口動態(生産年齢人口)等、BigData活用による仮説(社会経済動向)の提示。中心市街地活性化と大型商業施設展開(市立病院付近)のまちづくりとしての整合性のチェックを。 	沼津市(行政)担当者のPI勉強会への参加を希望します。
7	パッケージがまだ多過ぎるので、もっと絞り込むことが必要と思う。そもそも高架ありきの方向に進めたがっているのが、非常に強く感じられる。今までの勉強会では、高架や貨物駅の推進の意見はほんの一部の人間だけであった。それと、市の関係者が参加していないのでとても難しいが、沼津市の財政状況に応じた事業選択が最も重要だと思うので、何とか良い方法を!!	評価の段階で、中立的で広い知識(財政も詳しく)をもった専門家を選択して欲しい。	
8	もっと案を少なくして、オプションで加えられる様に進めた方が良くと思います。	これまでの話し合いが、報われる様に進めていただきたいと思っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を全く発言しない方がいたので、ファンリテーターの方から発言を促した方が良いと思います。 ・暑い中、職員の皆様には感謝することばかりです。ありがとうございます。
9		終わったからいいですが、8/10はみんなお墓を抱えている家の人としては、お盆前の忙しい日だと思いますよ。勉強会をやるなら、8月の1ケタの日まででしょうね。	最後は、評価して終了ということになるのですが、評価の仕方により、今までの意見もすべて評価数字の中に隠されて決定されてしまうのではないかと。評価して決定するしか方法はないと思いますが、評価の方法を深く考えないと、今までの意見が飛んでしまう可能性もあると思います。

10	<p>①代替案(パッケージ)について</p> <p>◎「沼津駅周辺の代替案」と「原地区の代替案」を無理にパッケージとして組み合わせる必要はない。沼津駅周辺ではA案、B案についてどのようなメリットがあり、どのようなデメリットがあるのか議論する。同時に、原地区についてもA案、B案のメリット、デメリットを議論することが重要。そうした話し合いの中で、違いが明確になってくるし、どのような組み合わせになるのかが見えてくる。</p> <p>②評価項目について</p> <p>◎今回「評価項目(案)」の考え方が出されたが、この考え方は「土木事務所の考え方」である。例えば「賑わい」については、「往來する人の量や商業の床面積で評価する」と記述されているが、それと「鉄道高架」とどのようなつながりがあるのか証明されなければ、まったく意味のない評価項目になる。沼津の現状は、デパートが撤退し、閉店したシャッター街が進行し、空き店舗が拡大している。西武百貨店が撤退しても何もできない現状で、少々の商業地が増えたところで、以前のような活性化の保障はない。どうやってそれを証明するのかを明確にしたい。証明できない曖昧な評価項目は「削除」すべきである。何十億、何百億円も投資すれば、鉄道高架をしなくても広大な土地は購入できる。</p> <p>◎同様に「地震・防災」など安全についての評価項目があるが、それは県や市の行政の担当者が考えることであり、評価項目として無理に設定する必要はない。もっと大事な「費用対効果」、「事業期間」、「財政・事業費」、「実現の可能性」などを評価項目の重要なポイントにすべきだ。</p> <p>◎「費用便益」(費用対効果)は2.7から1.5になり、現在はさらに自動車数が減少しているの下がっているはずである。最新のデータを出すべきである。</p> <p>◎評価項目で曖昧な点数を出すのではなく、市民が納得する「どれだけの効果がみこまれるのか」を明確にすべきである。</p>	<p>①グループで代替案の組合せを話し合うことは、レストランでどのランチにするのか選択するようなものであり意味のないことである。A案B案のメリット、デメリットを徹底的に議論すべきである。</p> <p>②今まで、現事業計画(A案)について積極的に話されていない。現行計画がなぜ必要なのか、今の沼津市にとってどのような利益があるのか、鉄道を高架化しなくてはならない理由は何かを議論すべきだ。これまでの学習会では、この点を避けてきた。逃げないで根本のところの議論をする話し合いをしたい。</p> <p>③学習会の後半で、全体会の時間を設定し、大事な内容、重要事項について確認することが大事。今回わたしが質問した「近傍駅」、「沼津市財源」、「費用便益」など不明確のままである。</p> <p>④私たちは、駅周辺の「500M圏内のまちづくり」を話し合っているのではない。沼津市21万人の住んでいる沼津市のあるべき姿に立ち、鉄道高架について話し合っているのであり、狭い500M圏内は本質から遊離してしまう議論になる。</p> <p>⑤グループ編成を見直したらどうか。一度、「高架推進グループ」「中間の市民グループ」「見直しグループ」の三つに分けて話し合う場を設定し、発表し合うことも考えていただきたい。</p> <p>⑥前回のアンケートにも記述しましたが、「市の発注する仕事を受けている業者」が推進派の代表者として出席し積極的に推進発言をしているが、公平性の観点から疑問がある。これでのいいのか。</p>	<p>・毎回、ファシリテーターが司会進行していますが、話し合いの論点を明確にし、参加者の意見を確認してから短冊(用紙)に記入していただきたい。思いつきの意見は参加者の同意と確認を求めて確認した上で記入していただきたい。</p> <p>・次回合同勉強会でも、「全体会の場」(30分程度)を設定し、大事な内容を確認する場としたい。</p> <p>・次回の勉強会ではA案、B案のメリット、デメリットが書き込める一覧表を用意していただきたい。各グループでメリット、デメリットを記入したものを、発表すれば、参加者全体の意見・見方が明確になる。</p>
----	--	---	--